

JENESYS2.0事業としてアジア各国へ高校生を派遣する外務省のプログラムに本校が指定されました。

そこで、インドへの訪問について、実施委託団体のJICE担当者が来校し、この事業や派遣、応募についての説明会を下記の内容で実施します。

応募を考えている人、迷っている人、国際交流や異文化理解に興味関心のある人は、説明会に参加してください。

なお、保護者の方も応募説明会に参加することができます。

## 記

- 日時：4月10日(木)17:00～
- 場所：本校視聴覚室
- 説明者：一般財団法人日本国際協力センター(JICE)国際交流部(東京)担当者または関西支所長
- 説明内容：
  - ・事業目的
  - ・派遣内容(プログラムの詳細)
  - ・応募条件
  - ・質疑応答

- 
- 21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) とは [外務省HP抜粋]

(Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths)

地域共有の将来ビジョンを作り、ひいては我が国の外交目標の1つである「アジアの強固な連帯」にしっかりとした土台を与え、かつ、アジアにおける良好な対日感情の形成を促進するという観点から、2007年1月にフィリピンのセブ島にて開催された第2回東アジア首脳会議 (EAS) において、EAS参加国 (ASEAN、中国、韓国、インド、豪州、ニュージーランド) を中心に、今後5年間、毎年6,000人程度の青少年を日本に招く規模の交流計画を実施する旨表明しました。これに基づき、政府は、「21世紀東アジア青少年大交流計画」(英文名: JENESYS Programme) を立ち上げ、各国及び関係機関等との協力の下、招へいや派遣等、交流事業を実施。2012年に事業を終了しました。

- JENESYS2.0 とは

2007年から実施したJENESYSの後継として、3万人規模で、アジア大洋州諸国及び地域との間で青少年交流事業「JENESYS2.0」を実施することを発表しました。本件事業は、日本経済の再生に向けて、我が国に対する潜在的な関心を増進させ、訪日外国人の増加を図るとともに、クールジャパンを含めた我が国の強みや魅力等の日本ブランド、日本的な「価値」への国際理解を増進させることを目指しています。

- 高校生派遣プログラム

[JICE・HP抜粋]

日本各地の高校生等を原則10日間、アジア諸国へ派遣します。派遣者は訪問国・地域において日本や地元地域の魅力を発信するほか、学校交流、ホームビジットやホームステイ、地元産業の視察などを通じ、派遣地域の社会文化や日本との関わりについて学びます。

